

科目ナンバリング		U-LAS01 20020 LJ38							
授業科目名 <英訳>	日本史各論（近代日本の地域社会） Topics in Japanese History (Regional Society in Modern Japan)				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 黒岩 康博			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
日本近代社会の形成過程について論ずる。 その際には、中央のみならず、地域社会が直面した 政治・経済・文化的諸問題も取り上げて検討する。									
【到達目標】									
日本近代（地域）社会の構造について、政治・経済・文化等の側面から理解する。									
【授業計画と内容】									
授業計画 1．ガイダンス 日本の近代と社会史 2．近世社会の構造と解体 3．文明開化・民権運動・民衆運動 4．景気循環と近代工業 5．小農経営と農村社会 6．女工と繊維産業 7．商工業者と同業組合 8．職工と雑業層 9．都市の姿 10．教育と立身出世 11．メディアの変化 12．政治の役割 13．労働組合と初期社会主義 14．日露戦後の社会 15．フィードバック									
【履修要件】									
○最低限高校日本史（近現代史）の知識をもっていることが望ましい。 関連する他の人文・社会系の授業も履修するとより学習効果が上がる と思われる。									
【成績評価の方法・観点】									
○平常点評価（出席と参加の状況）25点 試験（評価基準：授業内容を踏まえた上で、独自の視点や論点を打ち出した ものとなっているか否か）75点									
----- 日本史各論（近代日本の地域社会）(2)へ続く -----									

日本史各論（近代日本の地域社会）(2)

[教科書]

松沢裕作 『日本近代社会史－社会集団と市場から読み解く』（有斐閣）ISBN:9784641174757（本書で19～20世紀日本社会の変遷を学びます。）

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

○予習：教科書で毎回のトピックに関する基礎知識を予習すること。

該当箇所は授業時に指示する。

○復習：授業時に配布したレジュメを読み、各回の論点を各自でまとめること。

[その他（オフィスアワー等）]

○授業後の質問など積極的な参加を期待する。

[主要授業科目（学部・学科名）]